

行事予定

2021年(令和3年)5月～8月

【特別展／企画展】

2021年4月17日(土)～2021年7月31日(土)

2021年度企画展I

「ジュダイカ・コレクション ユダヤ教の祝祭」

〔場所〕西南学院大学博物館1階特別展示室

2021年4月19日(月)～9月上旬

南島原市相互貸借展示XVI

「輸出入禁止! はく製・標本展一口之津と海外交流」

〔場所〕西南学院大学博物館1階常設展示室

2021年4月30日(金)～2021年10月下旬

南島原市相互貸借展示XIX

「禁教から再布教へー日本と中国の歩みー」

〔場所〕南島原市原城図書館

【休館】

毎週日曜日

夏季休暇[8/10～8/16]

新型コロナウイルスの影響により、行事予定は日程、内容等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

来館者掲示板

【来館者の言葉】

今はアプリで簡単に手に入る地図が、高値のものであったことに驚くとともに、正確に描かれていることに感動しました。解説ももちろんいいボリュームで見やすかったです。(2020年12月)

百年前の建物を大事に保存されていて、特に木部がそのまま、感動しました。初めて見るたくさんのお古地図にも驚かされました。もっとたくさんの人に見てもらいたいです。(2021年1月)

江戸以前から日本の地図がかなり正確に記されていたことや、長らく北海道が認識されていなかったことが興味深かった。又、大陸(中国)からみると、琉球や九州の認識が大きいこともわかった。(2021年2月)



当館では、12月から4月にかけて特別展「地図に描く—伝えられた『日本』—」を開催いたしました。コロナ禍という状況の中、心苦しくも一時閉館させていただいた時期もありましたが、期間中はとても多くの方々にご来館頂きました。本当にありがとうございます。4月17日からは企画展「ジュダイカ・コレクション ユダヤ教の祝祭」を開催しております。スタッフ一同、皆様のご来館を心よりお待ちしております。

学芸調査員 山本恵梨

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

News

西南学院大学博物館ニュース

Volume **42** 2021.5

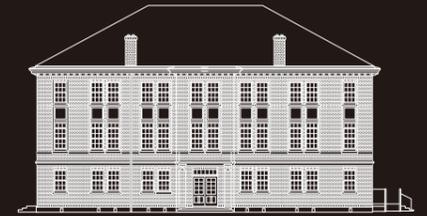
西南学院大学

所蔵品紹介 【キリスト教文化】ダンテ『神曲』煉獄篇

資料でみる西南学院の歴史⑥ 創立70周年記念事業 パイプオルガン設置

博物館通信 2020年度特別展「地図に描く—伝えられた『日本』—」ほか

展覧会紹介 ジュダイカ・コレクション ユダヤ教の祝祭



所蔵品紹介 特集

【キリスト教文化】

ダンテ『神曲』煉獄篇

The Divine Comedy : The Purgatory
1491年／ヴェネツィア(イタリア)／紙に活版・木版

「煉獄」(purgatorium)とは12世紀後半における中世西欧世界の隆盛に伴って誕生した言葉です。天国にも地獄にも属さない死者の魂は、その中間的な空間である煉獄で試練を受けることで救われるとされました。この試練の期間は生者が死者を思って祈りを捧げることによって短くなると考えられています。ダンテ・アリギエーリ(Dante Alighieri, 1265-1321)は、長編叙事詩『神曲』(La Divina Commedia)において、煉獄を7つの環状の道から成る山として描きました。死者の魂は、下から順に「傲慢・羨望・憤怒・怠惰・貪欲・大食・色欲」の7つの罪を浄化しながら煉獄の山を登り、天国を目指します。

本資料はヴェネツィアの出版人ピエトロ・デ・ピアージが手掛けたインクナブラ*で、本文に加え人文学者のクリストフォロ・ランディーノによる注釈が添えられています。欄外上部の“CANTO XII”という文字は、以下のテキストが「(煉獄篇)第12歌」であることを示しています。第12歌の冒頭では、「傲慢」の罪で罰せられた13の例を表す彫像がダンテの足元に現れます。木版による挿絵には、煉獄を旅するダンテと案内役として登場する古代ローマの詩人ウェルギリウスの姿があり、彼らの頭上にはそれぞれのイニシャルである“D”と“V”が記されています。挿絵下部には、本文で登場する傲慢の罪の13の例のうち、墮天使ルチフェル(LUCIFERO)、初代イスラエル王であるサウル(SAUL)、バベルの塔建設を命じた王とされているニムロデ(NENBROT)の3つの例が描かれています。画像上部には、「白い服を着た美しい人」(煉XII・88)が「翼でもって私

*インクナブラ(incunabula): ラテン語で「ゆりかご」を意味し、ヨハネス・グーテンベルクが活版印刷術を発明・実用化した15世紀中頃から1500年までに出版された初期印刷本を指す。

**本文の翻訳典拠: 平川祐弘訳『神曲』河出書房新社, 2009年



(挿絵拡大図)

(ダンテ)の額をはたき(煉XII・98)という記述の通り、ダンテの額に天使の羽が触れている様子が見られます。煉獄の入り口に立った際に、ダンテは天使によって額に7つの“P”の文字(Peccati, 罪)を刻まれていました(煉IX・112-114)。傲慢の罪を浄化したことによって、7つの“P”のうちの1つが取り払われたのです**。

学芸調査員 勝野みずほ

編集後記

今年度から学芸研究員に就任しました迫田ひなのと申します。次回の展覧会の調査で、4月は長崎へ行ってきました。道中いろいろなハプニングもありましたが、皆さまに楽しんでいただける展示になるよう試行錯誤しておりますので、ぜひご来館いただけるとありがたいです。

学芸研究員 迫田 ひなの

アクセスマップ ACCESS MAP



- 福岡空港 → 西新駅下車...約17分
- 博多駅 → 西新駅下車...約12分
- 天神 → 西新駅下車...約8分
- *地下鉄西新駅(3番出口)から徒歩5分
- 博多駅バスセンター → 修猷館前...約35分
- 天神 → 修猷館前...約20分
- *修猷館前バス停から徒歩5分
- 福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約25分
- 博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約20分
- 天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約15分

西南学院大学博物館

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

休館日 / 毎週日曜日、夏季休暇[8/10～8/16]、キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28～1/5]、そのほか臨時休館あり

入館料 / 無料

[seinamuseum](https://www.facebook.com/seinamuseum) [@seinan_museum](https://twitter.com/seinan_museum) [@seinan_museum](https://www.instagram.com/seinan_museum)



西南学院は1986(昭和61)年に創立70周年を迎え、学院創立の記念式典が今までより一層盛大に行われました。式典は5月9日と10日の2日間にわたって行われ、教職員や生徒を含め学院関係者約3500人が参加しました。当時の院長であるチャールズ L. ホエリー(Charles Lloyd Whaley, 1922-2014)は「西南学院の建学の精神に基づく人格教育は、この世の時間概念を超える永遠なものであり、それが西南学院をひとつに結びつるフレインとして、いつまでも残るよう心から祈ります」と式辞を述べています。

学院創立70周年では記念式典が盛大に行われただけでなく、複数の記念事業も行われています。そのうちのひとつとしてランキン・チャペルへの本格的なパイプオルガン設置が実現されました。かねてよりパイプオルガン設置の願いが出ており、70周年を機に実現したのです。パイプオルガン製作は国産オルガンの辻オルガンに依頼し、その様式は17世紀から18世紀の北ドイツ・バロック様式を踏襲しています。1987(昭和62)年にランキン・チャペルで組み立てが開始され、11月4日に学院への引き渡しが完了しました。その後11月28日には奉献式と記念演奏会が開かれ、パイプオルガン製作者の辻宏氏も参列しています。

チャペルが新しく建て替えられた今も変わらずこのパイプオルガンは設置されており、正面にそびえたつその姿に誰もが心を惹きつけられることでしょう。70周年記念事業のひとつとして製作されたパイプオルガンは、現在も学院のチャペルを支え、その音色を変えることなく学院を見守っているのです。

学芸調査員 相江 なぎさ



「創立70周年記念式典(カラープリント)」(1986年5月撮影)
所蔵: 西南学院史資料センター



「ランキン・チャペルに設置されたパイプオルガン」
(1987年11月撮影)所蔵: 西南学院史資料センター



博物館通信

2020年12月から2021年4月にかけて行われた博物館活動の中からいくつかをご紹介します。

西南学院大学博物館では、2020年12月から2021年4月にかけて、特別展「地図に描く一伝えられた『日本』」を開催しました。会期中、再度の緊急事態宣言発令により、1月16日(土)から2月9日(火)まで臨時休館を行い、それに伴って会期が延長となりました。本展覧会は、大判の地図を目玉としており、迫力のある展示品の数々に、来館者の皆様から驚きの声を多数頂きました。

学芸調査員 早田 萌



常設テーマ展示

2020年12月23日(水)～2021年4月14日(水)
2020年度特別展「地図に描く一伝えられた『日本』」を開催しました。

2020年12月23日(水)～2021年4月17日(土)
官学連携サテライト展示「南島原市相互貸借特集展XV 疫病と共に生きた時代」を開催しました。

2021年3月1日(月)～12月27日(月)
常設テーマ展示「聖書の写本と印刷本」を開催中です。

2021年3月3日(水)～5月末
図書館サテライト展示「ユダヤ教の祝祭—聖書と祝祭の関係—」を開催中です。

2021年4月17日(土)～7月31日(土)
2021年度企画展「ジュダイカ・コレクション ユダヤ教の祝祭」を開催中です。

2021年4月19日(月)～9月上旬
官学連携サテライト展示「南島原市相互貸借特集展XVI 輸出入禁止! はく製・標本展—口之津と海外交流—」を開催中です。



南島原市相互交流展示



図書館サテライト展示

展覧会紹介

開催中

2021年度 西南学院大学博物館企画展 I

ジュダイカ・コレクション ユダヤ教の祝祭

会期/2021年4月17日(土)～7月31日(土)

会場/西南学院大学博物館1階特別展示室

主催/西南学院大学博物館

ジュダイカとはユダヤ教の祭具等を含む文物の総称であり、優れた美術工芸品を指す言葉でもあります。ユダヤ教の信仰形態や芸術性を示すジュダイカ・コレクションは、世界各地で今日を生きるユダヤ人の価値観や歴史的背景、文化を反映しています。

本展覧会では、ユダヤ人の信仰の源であり生活の営みと深い関りをもつ祝祭を、ジュダイカ・コレクションを通じてご紹介します。

I / 暦

ユダヤの暦

ジュダイカ

II / 祝祭

安息日 —シャバット—

新年祭と贖罪日 —ローシュ・ハシャナーとヨム・キプール—

仮庵祭 —スコット—

律法感謝の祝祭 —シムハット・トーラー—

神殿奉獻祭 —ハヌカー

プリム祭

過越祭 —ペサハー



西南学院大学博物館研究叢書

『ジュダイカ・コレクション：ユダヤ教の祝祭』

- 本体600円+税
- A5判変型/40ページ / 小口折並製本/オールカラー
- ISBN978-4-910038-30-8 C0016
- 監修 伊藤慎二
- 編者 山尾彩香
- 発行 西南学院大学博物館
- 出版 花乱社

アンケートプレゼント

ユダヤ教の祝祭展アンケートにご回答いただいた方に、オリジナルポストカードをプレゼント!



撮影OK

本展は写真撮影ができます。

撮影した写真はSNSやブログ等にご掲載いただけます。ただしフラッシュ撮影、三脚や自撮り棒などを使用しでの撮影、動画配信はご遠慮ください。

